

Global Awareness for Technology Implementation (GATI 7)

募集要項

(東工大・チューラーロンコン大学合同の異文化課題解決型学習プログラム)

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、渡航が中止になる場合や、渡航後であっても本学の判断で途中帰国を指示する可能性がある。またその際に、自己負担のキャンセル料が発生することを了承の上、応募すること。

※以下の在タイ日本国大使館で最新情報と、日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限が記載されているので、必ず確認すること。タイ入国時に隔離期間を短くするために TEST & GO プログラムで入国するための英文でのワクチン接種証明を取得できるか、現地到着後及び帰国後の隔離期間の可能性があることも考慮し、自身が参加可能か確認すること。

[在タイ日本国大使館] https://www.th.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

※本プログラム参加にあたっては、かならず家族・保証人及び指導教員に相談し、同意を得ること
本年のプログラム(Global Awareness for Technology Implementation 7: GATI 7)のテーマ：
「SDG s に貢献するアイデアの実現に向けて」

本プログラム (GATI 7) は、以下の三部で構成されている。

① 2Q:事前学習とタイでの海外研修

7月末から事前学習を行う。タイの現地訪問(8月末～9月上旬)には、専門家による講義受講、サイトビジット、グループワーク等が含まれる。帰国後10月頃、海外派遣プログラム報告会で、その内容と成果を報告する。

② 3Q:チューラーロンコン大学学生との合同遠隔グループワーク及び講義

10月～11月上旬に遠隔によるグループワークで調査結果の共有や相違点について議論を行い、12月の最終提案発表及び提案報告書に向けた準備を行う。

③ 3-4Q:チューラーロンコン大学学生の本学訪問受け入れ及び最終成果発表

12月中旬に、チューラーロンコン大学の学生を受入れ、専門家による講義や施設訪問などを行い、グループワークの成果として最終提案発表を行う。また、グループ提案報告書及び個人感想レポートを提出する。

【履修単位】合計：3単位

①：学士課程2年生：[LAW.X102](#) グローバル理工人海外研修ベーシック 1A (1単位)

学士課程3年生以上：[LAW.X301](#) グローバル理工人海外研修 1A (1単位)

「グローバル理工人海外研修 1」等の科目ではなく、所属学科・系の科目による単位付与が行われる場合がある。

② 及び③：学士課程：[LAW.X359](#) グローバル理工人共修 1 (2単位)

修士課程：[LAW.X431](#) グローバル理工人特論 1 (2単位)

※3単位とも履修すること。いずれか一方のみの履修は不可とし、応募資格がないものとする。

【応募資格】

- 東工大正規課程学生(学士課程2,3,4年生、修士課程の学生)で、**①, ②, ③ともに参加可能なこと**(全体スケジュール詳細は後述。③についての参加可能日は応相談。)
- 国籍・性別・学年・学科・系・コース等は不問。
現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
- グローバル理工人育成コースに所属し、以下の通りコース修了に向けた活動を行っている学生を優先する。
 - グローバル理工人育成コースの4つの教育プログラムの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
 - ポートフォリオに必要事項(グローバル理工人育成コースの志望動機、所属時のルーブリック等)を記入している。

*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細については、以下のURLを確認のこと。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/>

応募説明会：5月13日(金) プログラム説明会@Zoom 12:30-13:30

<https://zoom.us/j/98694757133?pwd=cE1DZTJadE9valhBK0luVkdDNXhRZz09>

ミーティング ID: 986 9475 7133

【海外研修先】 タイ（バンコク）

【渡航期間】 2022年8月29日（月）～9月8日（木）（10泊11日）

【費用】 約180,000円（予定）

（航空券代，燃料サーチャージ，空港税，現地宿泊費等）

※現地での諸経費（食費等），ビザ代は上記の費用には含まれない。

※大学の指定する海外旅行保険に加入すること。

※航空券と現地長距離移動，現地宿泊については，本学が一括で手配。

【応募方法】 T2form から申し込むこと

<https://www.t2form.titech.ac.jp/sv/187659?lang=ja>

【募集人数】 10名程度（最少催行人数6名に達しない場合，プログラムを中止する場合がある。）

【選考方法】 書類審査及び面接（面接は書類審査通過者のみに実施。）

【応募締切】 2022年5月27日（金）正午12時（T2form への入力を完了すること。）

※応募に際しては，指導教員，またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得て，T2フォームに承認を受けたことが分かるメールのPDFを添付すること。

※渡航先のビザ取得期間等を確認の上，応募の可否を自身で判断すること。

【選考方法】 書類審査及び面接（面接は書類審査通過者のみに実施する。）

【面接予定日】 2022年5月31日（火） ※結果通知は6月3日（金）までにメールで連絡。

【全体スケジュール】

・6/22（水）書類説明オリエンテーション，危機管理オリエンテーション

・7月（水）海外安全オリエンテーション（実施日は別途通知）

①	事前学習 1	7/20	水	午後：海外安全説明会（東工大のみ） 顔合わせ，オリエンテーション（東工大のみ）
	事前学習 2	7/27	水	PM3:00-PM5:00：事前学習（東工大のみ）
	事前学習 3	8/10	水	午前中：サイトビジット（東工大のみ） PM3:00-PM5:00：チューラー大と顔合わせ・事前学習
	事前学習 4	8/24	水	PM3:00-PM5:00：事前学習
	海外研修	8/29-9/8		訪タイ（講義・グループワーク，サイトビジット等）
②	遠隔グループワーク・講義	10/5	水	PM2:00-PM5:00：遠隔グループワーク及び講義 ※開始時間の変更あり（5/19変更）
		10/12	水	
		10/19	水	
		10/26	水	
		11/2	水	
③	チューラー大学受け入れ・最終提案発表	12/19-12/23		サイトビジット，グループワーク，最終提案発表

この他に，10月開催の海外派遣プログラム報告会で，①について報告を行う。

【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象である。以下の基準を満たした学生には7万円が支給される場合がある。（別途書類の提出が必要。必要書類については、書類説明オリエンテーションで説明する。）なお、学内規定により国費留学生には奨学金の支給はない。

奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）国費以外の留学生（東京工業大学基金））
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること ➡ 学業成績書で確認する。
下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

（「評価ポイント3の単位数」×3）＋（「評価ポイント2の単位数」×2）＋（「評価ポイント1の単位数」×1）＋（「評価ポイント0の単位数」×0）／ 総登録単位数

3. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者（原則として家計基準に合致する者） ➡ 申立書を根拠とする。
4. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

（注意事項）

1. 学士課程4年生の参加については、以下の条件を満たす必要がある。
 - ① 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。
 - ② 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。
2. 帰国後、本学において単位付与出来ない場合には、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
3. 感染症予防対策のため、宿泊は原則としてシングルルームとする。

【キャンセルについて】

安全上の理由によりプログラムが渡航延期、中止される場合があり、その際のキャンセル料については自己負担となる。

【問合せ先】

留学情報館（大岡山 Taki PLAZA B1） メールボックス：TP-004

電話：03-5734-3520 / e-mail: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp